

第2章 愛知県におけるがんとかん医療の現状

1 全国の死因別死亡者数の推移

がんによる死亡者数は一貫して増加傾向にあり、近年は35万人以上に達しています。約3人に1の方が、がんで亡くなっています。

単位：人

区分	がん	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	その他(自殺等)	死亡総数
平成7年	263,022	139,206	146,552	79,629	45,323	248,407	922,139
平成12年	295,484	146,741	132,529	86,938	39,484	260,477	961,653
平成17年	325,941	173,125	132,847	107,241	39,863	304,779	1,083,796
平成21年	344,105	180,745	122,350	112,004	37,756	344,905	1,141,865
平成22年	353,499	189,360	123,461	118,888	40,732	371,072	1,197,012
平成23年	357,305	194,926	123,867	124,749	59,416	392,803	1,253,066

出典 厚生労働省「人口動態統計」

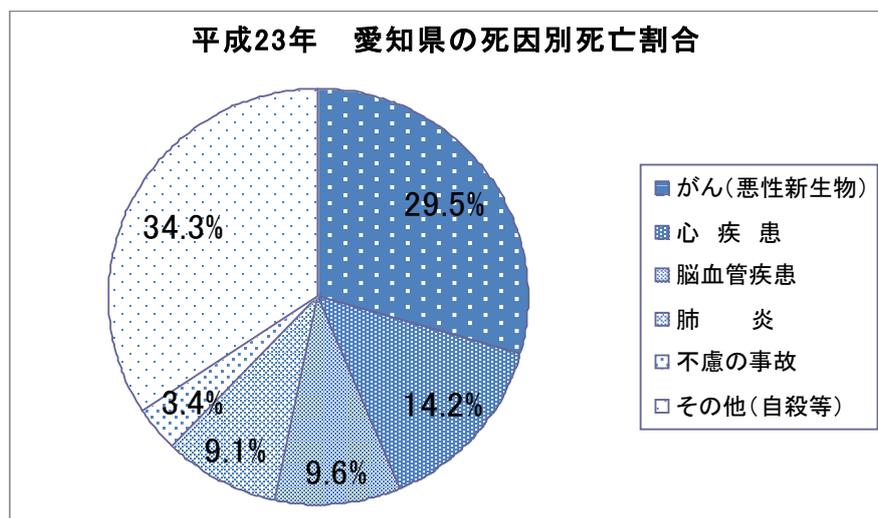
2 愛知県の死因別死亡者数の推移

平成23年のがんによる死亡者数は、愛知県では17,596人でした。全国と同様に、約3人に1の方が、がんで亡くなっています。

単位：人

区分	がん	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	その他(自殺等)	死亡総数
平成19年	16,570	8,099	5,859	5,225	1,991	15,874	53,618
平成20年	17,049	8,419	6,011	5,315	1,987	17,255	56,036
平成21年	16,888	8,047	5,548	5,040	1,913	17,753	55,189
平成22年	17,814	8,642	5,677	5,190	2,094	19,060	58,477
平成23年	17,596	8,454	5,723	5,444	2,038	20,465	59,720

出典 厚生労働省「人口動態統計」



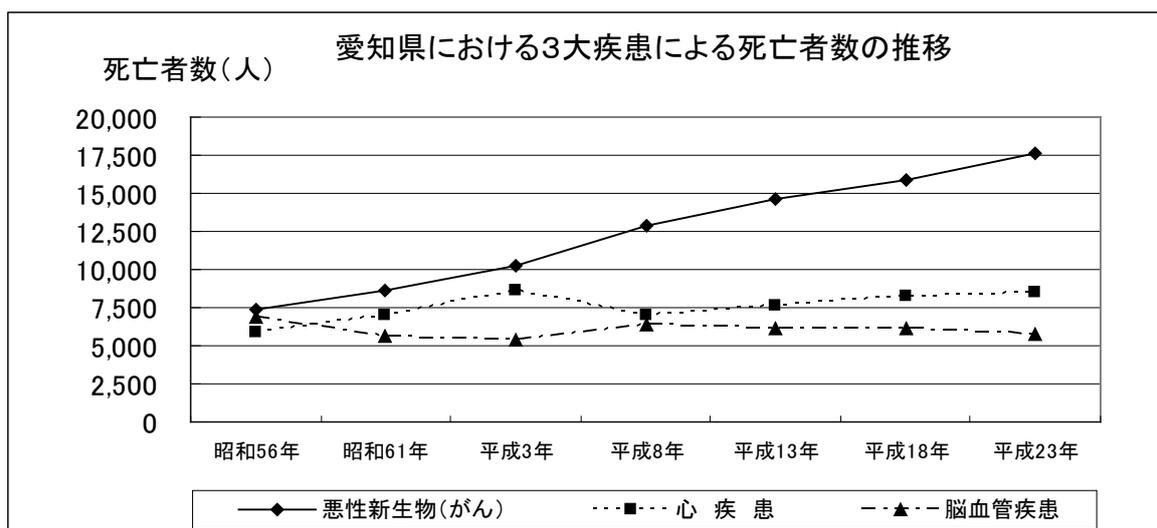
3 愛知県における3大疾患による死亡者数の推移

愛知県における、3大疾患（がん、心疾患及び脳血管疾患）による死亡者数の推移を比較すると、がんによる死亡者数の増加が3大疾患の中で顕著になっており、平成23年の死亡者数を30年前と比較してみると、がんは2.4倍、心疾患は1.4倍、脳血管疾患は0.8倍となっています。

単位：人

区分	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年
がん	7,338	8,635	10,271	12,882	14,676	15,929	17,596
心疾患	5,851	6,942	8,671	6,968	7,586	8,294	8,454
脳血管疾患	6,880	5,586	5,403	6,349	6,149	6,097	5,723

出典 厚生労働省「人口動態統計」



4 がんによる性別、部位別死亡者数の愛知県と全国の比較

愛知県の男性の場合は、全国と同様に、肺がんの死亡者数が最も多く、がんによる死亡者数のうち約4分の1を占めています。以下、胃がん、大腸がん、肝がんによる死亡者数が多くなっています。

(男性)

単位：人

区分	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	子宮がん	その他	合計
平成19年	愛知県	2,478 (24.5%)	1,784 (17.6%)	1,215 (12.0%)	1,013 (10.0%)	— (35.9%)	3,634 (100%)
	全国	47,685 (23.5%)	33,143 (16.3%)	22,846 (11.3%)	22,300 (11.0%)	— (37.9%)	202,743 (100%)
平成21年	愛知県	2,504 (24.3%)	1,731 (16.8%)	1,180 (11.4%)	961 (9.3%)	— (38.2%)	3,945 (100%)
	全国	49,035 (23.8%)	32,776 (15.9%)	22,762 (11.0%)	21,637 (10.5%)	— (38.8%)	206,352 (100%)

単位：人

区 分		肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	子宮がん	その他	合 計
平成 23 年	愛知県	2,699 (24.9%)	1,743 (16.1%)	1,314 (12.1%)	971 (9.0%)	—	4,093 (37.8%)	10,820 (100%)
	全 国	50,782 (23.8%)	32,785 (15.4%)	24,862 (11.7%)	20,972 (9.8%)	—	83,789 (39.3%)	213,190 (100%)

出典 厚生労働省「人口動態統計」

愛知県の女性の場合は、大腸がんによる死亡者が最も多く、肺がん、胃がんと続きます。大腸がんによる死亡者数に対する割合がやや増加傾向にあります。

また、全国と比較すると、愛知県では大腸がんの死亡者の割合がやや大きい傾向となっています。

(女性)

単位：人

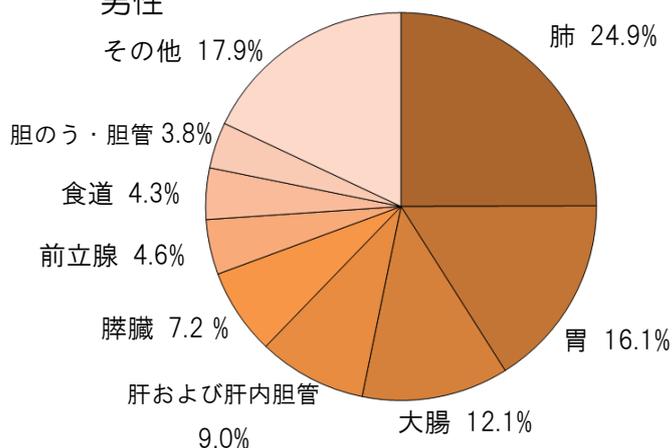
区 分		肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮がん	その他	合 計
平成 19 年	愛知県	888 (13.8%)	851 (13.2%)	964 (15.0%)	494 (7.7%)	570 (8.8%)	285 (4.4%)	2,394 (37.1%)	6,446 (100%)
	全 国	17,923 (13.4%)	17,454 (13.1%)	19,013 (14.2%)	11,299 (8.4%)	11,323 (8.5%)	5,622 (4.2%)	51,091 (38.2%)	133,725 (100%)
平成 21 年	愛知県	865 (13.2%)	838 (12.8%)	963 (14.7%)	477 (7.3%)	637 (9.7%)	286 (4.4%)	2,501 (38.1%)	6,567 (100%)
	全 国	18,548 (13.5%)	17,241 (12.5%)	19,672 (14.3%)	11,088 (8.0%)	11,918 (8.7%)	5,524 (4.0%)	53,762 (39.0%)	137,753 (100%)
平成 23 年	愛知県	928 (13.7%)	805 (11.9%)	1,059 (15.6%)	488 (7.2%)	624 (9.2%)	302 (4.5%)	2,570 (37.9%)	6,776 (100%)
	全 国	19,511 (13.5%)	17,045 (11.8%)	20,882 (14.5%)	10,903 (7.6%)	12,731 (8.8%)	6,075 (4.2%)	56,968 (39.5%)	144,115 (100%)

出典 厚生労働省「人口動態統計」

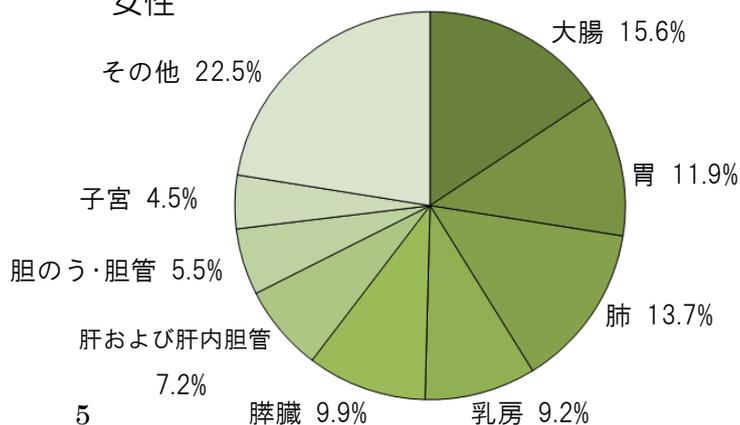
5 愛知県における部位別がん死亡割合と年齢階級別死亡率

男性で最も死亡数の多い部位は肺であり、胃、大腸、肝及び肝内胆管、膵臓と続き、女性で最も死亡数の多い部位は大腸であり、胃、肺、乳房、膵臓と続きます。

男性



女性



出典 厚生労働省「人口動態統計」(平成23年)

平成22年の愛知県における、性・年齢階級別のがんの死亡率は、男性においては、全国と同様に30歳及び40歳代の年齢階級では胃や大腸などの消化管のがんによる死亡率が高く、50歳代以降の年齢階級では肺がんによる死亡率が急激に高くなっている。

女性においては、30歳から50歳代までの年齢階級では全国と同様に女性特有のがんによる死亡率が高いが、60歳代以降の年齢階級では概ね大腸がんによる死亡率が一番高くなっている。一方、全国においては、60歳代以降の年齢階級では概ね肺がんによる死亡率が一番高くなっている。

全国と同様に、愛知県の女性の大腸がんによる40歳代の年齢階級での死亡率は、女性特有のがん以外では、胃がん、肺がんによる死亡率よりも高くなっている。また、愛知県の女性の大腸がんによる60歳以降の年齢階級での死亡率は、全国の女性の大腸がんによる死亡率より高い傾向にあり、肺がんによる死亡率と同程度となっている。

年齢階級別死亡率（人口10万対）（平成22年）

（愛知県：男性）

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.5	0.0	0.0	0.4	1.3	2.1	11.1	25.2	50.3	99.2	176.5	255.8	401.6	612.1	748.2
胃	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	3.6	5.4	14.3	35.6	71.3	116.4	172.6	273.1	338.0	523.8
大腸	0.0	0.5	0.8	0.0	1.6	4.3	11.5	12.4	32.1	48.1	87.4	116.0	168.1	226.6	352.1

（全国：男性）

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.1	0.2	0.2	0.5	1.9	3.9	10.8	24.3	50.6	92.2	163.2	237.1	384.4	596.0	742.4
胃	0.1	0.1	0.7	1.1	2.0	3.8	7.6	18.3	39.3	66.3	107.1	163.1	236.7	329.8	512.9
大腸	0.0	0.4	0.3	1.2	1.6	4.6	8.2	17.1	32.7	53.3	79.4	114.1	159.4	198.2	195.6

（愛知県：女性）

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.0	0.0	1.2	0.3	1.9	5.2	7.4	15.6	30.5	43.9	57.1	101.7	143.4	205.1
胃	0.0	0.0	0.0	0.8	2.7	3.5	4.4	11.3	24.0	26.5	33.8	54.0	70.7	119.7	223.0
大腸	0.0	0.5	0.9	0.0	1.7	3.9	7.8	11.3	15.1	33.0	33.4	59.6	104.2	147.7	269.2
乳房	0.0	0.0	0.9	2.0	5.3	6.6	14.8	25.6	34.2	32.3	34.6	35.5	36.6	41.6	62.4
子宮	0.0	0.0	0.0	2.8	3.7	6.9	8.3	9.8	11.6	13.6	16.9	21.1	23.6	22.9	41.0

（全国：女性）

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.1	0.1	0.5	1.2	2.3	4.5	8.6	15.9	28.0	42.8	61.6	90.8	134.0	210.6
胃	0.0	0.3	0.4	1.0	2.6	3.8	5.8	10.3	16.3	22.5	30.5	46.7	68.6	111.4	217.7
大腸	0.0	0.1	0.4	0.9	2.1	4.1	6.5	12.2	19.7	27.7	38.5	57.1	82.3	89.4	104.1
乳房	0.0	0.0	0.5	2.0	5.0	10.7	17.6	28.8	37.9	35.8	34.2	31.1	33.9	38.4	57.3
子宮	0.0	0.0	0.6	2.1	3.2	5.3	7.2	10.4	12.6	13.8	14.3	16.2	18.9	25.2	35.6

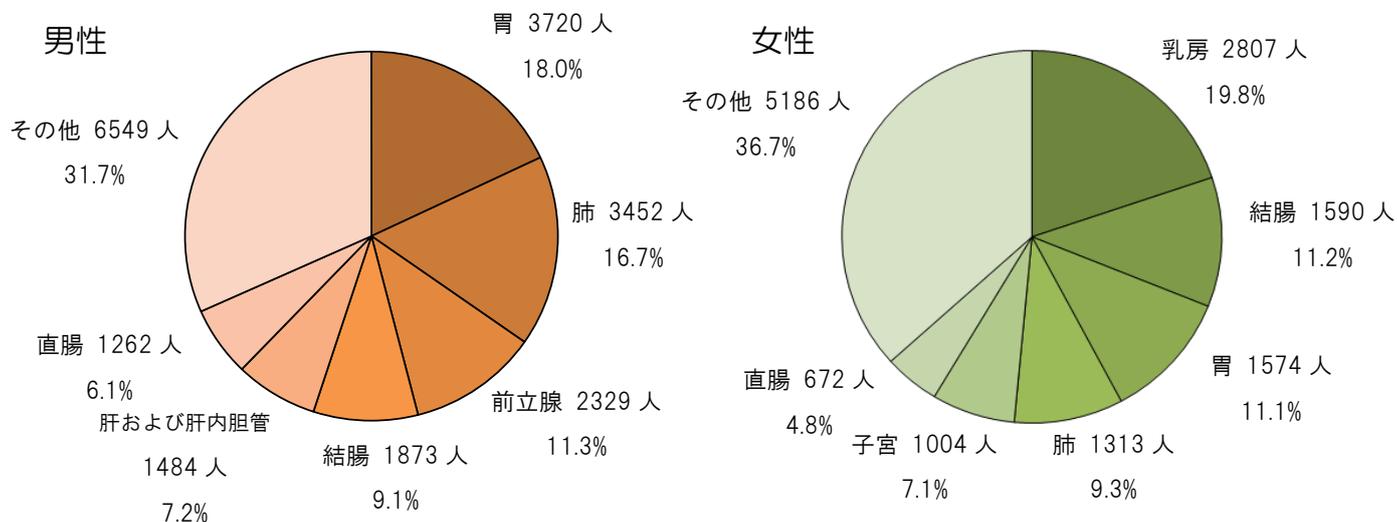
注：太字（ゴシック）は、肺がん、胃がん及び大腸がんの中で、最も罹患率が高いことを示す。

6 愛知県におけるがん罹患の状況（平成20年がん罹患データ：「愛知県のがん登録」）

「愛知県のがん登録」によると、愛知県在住で新たにかんと診断された方は平成20年1月から12月の1年間では34,815人（男性20,669人、女性14,146人）でした。

(1) 部位別がん罹患割合

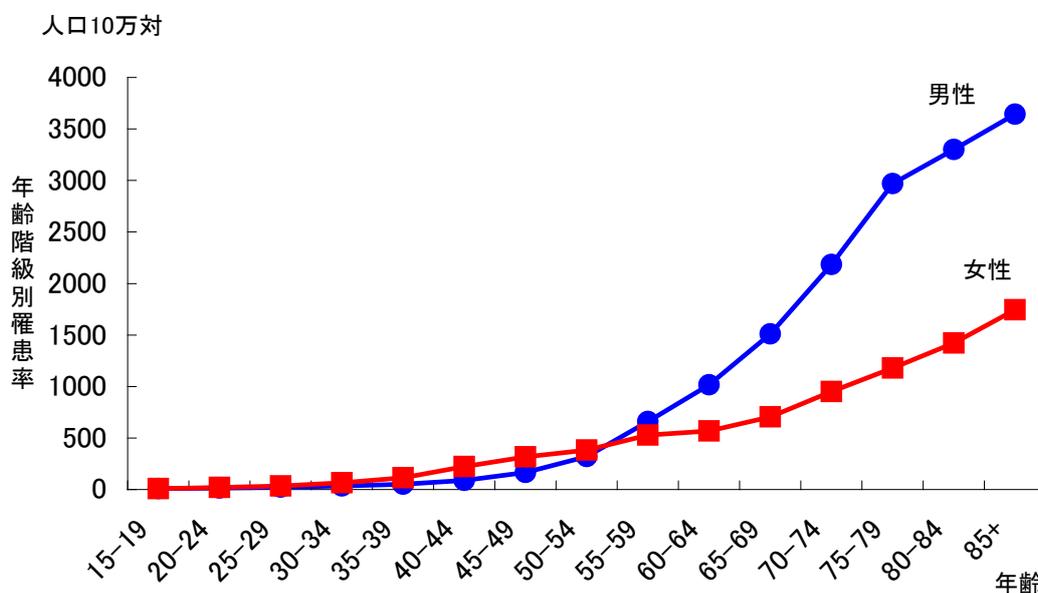
部位別にみると、男性で最も多いがんは胃がんであり、肺、前立腺、結腸、肝および肝内胆管、直腸と続き、女性で最も多いがんは乳がんであり、結腸、胃、肺、子宮、直腸と続きます。



出典：「愛知県のがん登録」

(2) 年齢階級別罹患率：人口10万対

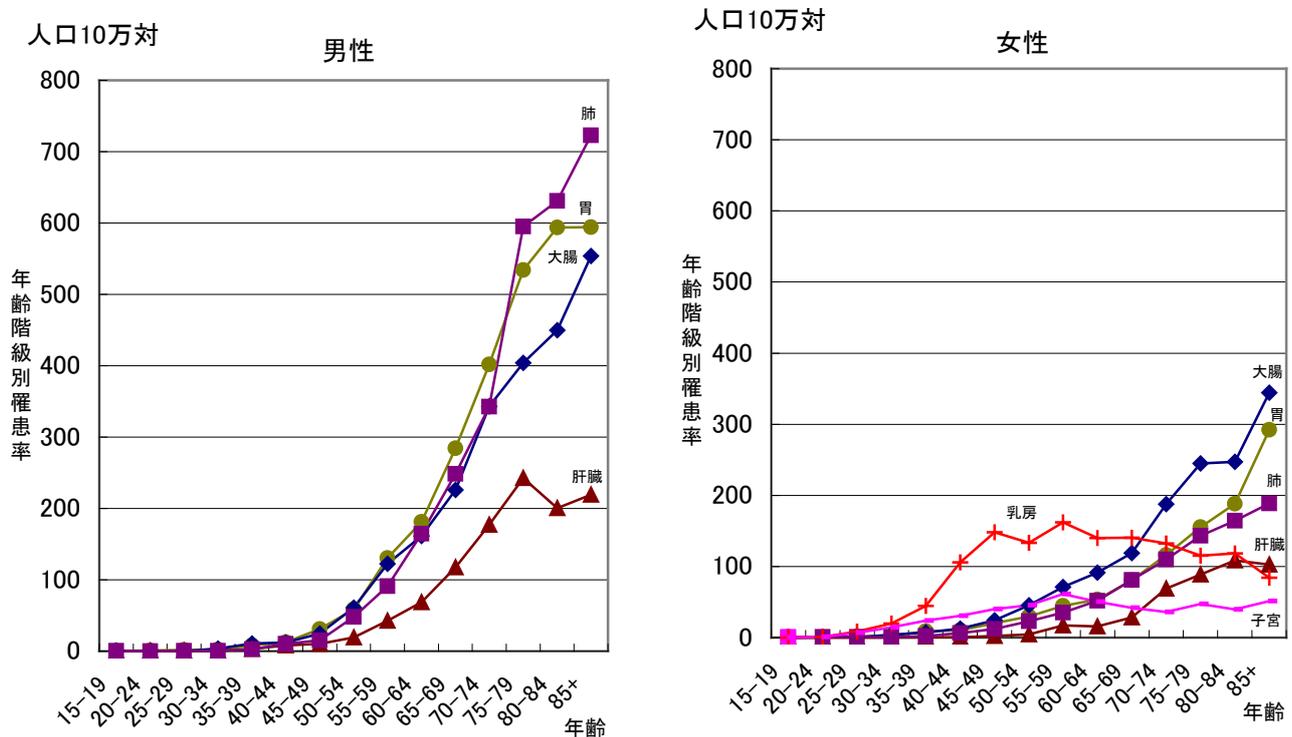
※ 全部位における年齢階級別罹患率は、男女とも50歳代くらいから増加し、高齢になるほど高くなっています。30歳代から50歳代前半で女性が男性よりやや高く、50歳後半以降は男性が女性より顕著に高くなっています。



出典 「愛知県のがん登録」

(3)年齢階級別・部位別罹患率:人口10万対

年齢階級別に各部位の罹患率をみると、男性では胃がんが55～59歳から70～74歳の年齢層で部位別罹患率の第1位となっており、75歳以上では肺がんが第1位となっています。女性では乳がんが25～29歳から65～69歳の年齢層で部位別罹患率の第1位となっており、70歳以上では大腸がんが第1位となっています。



年齢階級別がん罹患率：男性（人口10万対）（上皮内がんを除く）

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.5	0.0	0.4	0.3	2.8	10.4	15.2	47.8	91.3	164.4	248.2	342.5	594.9	630.9	722.7
胃	0.5	0.9	1.6	2.0	8.1	12.6	30.8	58.7	130.6	181.4	284.1	401.9	534.3	593.9	594.3
大腸	0.5	0.0	0.0	3.7	11.0	12.3	24.7	61.0	122.6	161.2	226.2	343.0	404.0	449.9	554.0

年齢階級別がん罹患率：女性（人口10万対）（上皮内がんを除く）

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	1.0	0.9	0.4	2.0	6.5	12.0	23.1	34.9	51.9	81.1	109.9	143.2	164.4	188.5
胃	0.0	0.0	1.8	2.2	8.8	10.1	20.3	29.5	44.8	53.5	80.6	116.3	155.1	188.3	292.1
大腸	0.0	0.5	0.4	4.1	7.1	12.6	24.5	45.3	71.0	91.3	118.8	187.9	245.0	247.1	344.4
乳房	0.0	1.0	8.5	19.9	44.7	105.8	148.2	133.4	162.1	140.1	140.3	132.2	115.2	118.5	84.0
子宮	0.0	1.0	6.7	14.4	23.7	30.8	40.2	45.3	61.1	50.3	42.1	36.1	47.3	39.5	51.3

出典 「愛知県のがん登録」

注：太字（ゴシック）は、肺がん、胃がん及び大腸がんの中で、最も罹患率が高いことを示す。

※ (4)愛知県における小児がんの発症状況

愛知県における小児がんの発症（0歳から19歳まで）について、地域がん登録で把握している年間罹患数は、平成20年において165件でした。

また、小児慢性特定疾患医療給付[※]（主な対象者：愛知県内に住所を有する満18歳未満の者）において、平成23年の悪性新生物（がん）による給付は、114件が承認されています。

小児がん患者の把握数（地域がん登録により把握された罹患数）

年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
罹患数	125件	137件	114件	177件	165件

出典：「愛知県のがん登録」

小児がん患者の把握数（小児慢性特定疾患対策協議会において承認された件数）

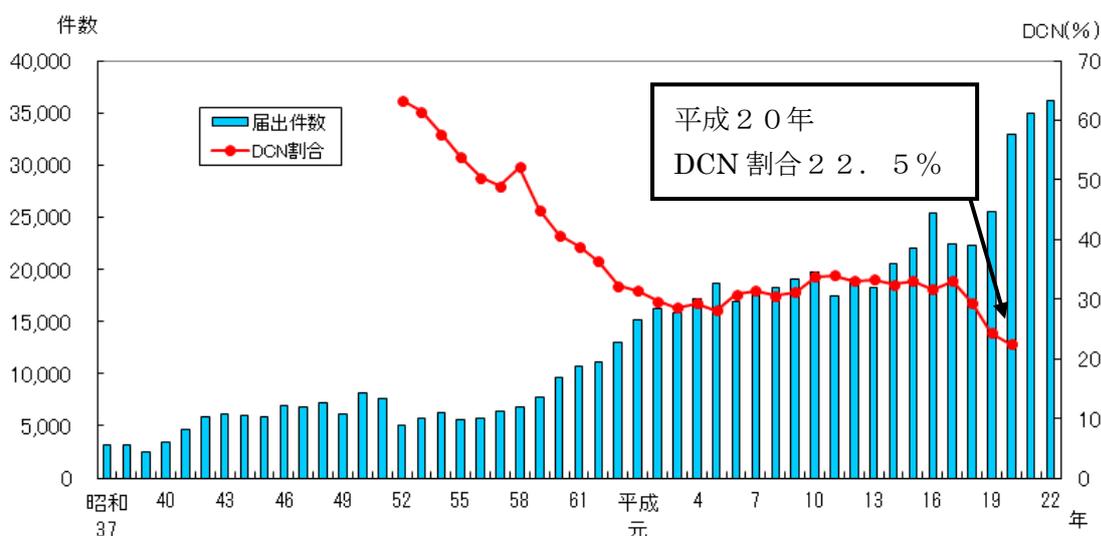
年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
件数	108件	135件	127件	133件	114件

（愛知県健康福祉部）

7 地域がん登録の届出件数等の推移

本県においては、昭和37年から地域がん登録を実施しており登録事務実施体制の強化や医療機関における院内がん登録[※]の充実により、届出数は増加傾向にあるとともに、がん登録の精度指標であるDCN割合[※]は改善傾向にあります。

届出件数とDCN割合の推移



出典 「愛知県のがん登録」

注：地域がん登録の精度指標であるDCN割合は、医療機関からの悪性新生物患者届出票と人口動態調査との照合作業を行い、届出票の重複等を除いた後に値を算出しているため、平成20年（2008年）が最新のデータとなります。

8 愛知県におけるがんの推計患者数の推移

(男性)

部位	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
胃	2,763	2,961	3,157	3,042	3,441	3,625	3,720
肺	2,396	2,772	2,987	3,041	3,084	3,482	3,452
大腸	2,364	2,334	2,460	2,495	2,840	2,963	3,159
前立腺	910	1,538	1,597	1,804	2,028	2,186	2,329
肝臓	1,220	1,375	1,354	1,367	1,265	1,399	1,484
全部位計	14,094	15,867	16,535	16,861	18,076	19,937	20,669

(女性)

部位	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
乳房	1,856	2,034	2,034	2,111	2,334	2,797	2,807
大腸	1,737	1,857	1,815	1,919	2,136	2,326	2,277
胃	1,391	1,422	1,443	1,471	1,608	1,537	1,574
肺	950	1,037	1,101	1,175	1,164	1,359	1,313
子宮	732	779	895	800	850	957	1,004
肝臓	534	553	604	639	605	615	659
全部位計	10,255	11,173	11,586	11,722	12,593	13,926	14,146

出典 「愛知県のがん登録」(平成24年9月)

注 : 推計患者数は、上皮内がんを除いた数です。

全部位計は表に記載した主要部位と、それ以外の全ての部位を含むがんの推計患者数です。

「大腸」は、結腸、直腸S状結腸移行部、直腸、肛門部及び肛門管を合計した数です。

登録精度が低い(登録件数が少ない)場合は、推計患者数が低値となるため、経年的に推計患者数の推移を比較する場合には注意が必要です(「7 地域がん登録の届出件数等の推移」参照)。

9 愛知県における喫煙率の状況

現在、習慣的に喫煙している人の割合を示す喫煙率を、経年的に比較すると、男性は30歳代以上で、女性は20歳代及び40歳代以上で喫煙率の低下傾向を認めますが、男女とも若年者においては、明らかな低下傾向を認めない年代もあります。

(男性)

区分	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成12年	20.1%	48.8%	49.7%	48.7%	49.3%	39.8%	27.7%
平成16年	6.7%	38.2%	46.8%	47.4%	42.2%	34.2%	23.2%
平成21年	3.4%	27.1%	36.7%	39.1%	38.5%	29.3%	15.0%
平成24年	8.7%	34.5%	36.9%	32.0%	33.6%	29.6%	15.7%

(女性)

区 分	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
平成 12 年	3.3%	19.5%	17.3%	10.7%	9.1%	6.1%	5.0%
平成 16 年	4.5%	15.7%	11.9%	13.9%	14.5%	7.9%	3.7%
平成 21 年	1.8%	17.5%	12.3%	16.1%	9.1%	6.2%	3.8%
平成 24 年	4.6%	6.7%	12.9%	7.8%	7.8%	4.8%	2.2%

出典 愛知県「生活習慣関連調査」

調査方法：住民基本台帳の満 20 歳以上の男女を 1,500 人に 1 人ずつ無作為抽出

満 16 歳以上から満 19 歳までの男女を 500 人に 1 人ずつ無作為抽出

回収数(率)：満 20 歳以上、1,884 人 / 4,362 人 (43.2%)

満 16 歳以上から満 19 歳まで、200 人 / 638 人 (31.3%)

合計 2,084 人 / 5,000 人 (41.7%)

10 がん検診の受診率の状況

(1)5つのがん[※]の検診受診率

がん受診率については、平成 19 年度から平成 20 年度にかけて大きく低下していますが、平成 19 年度までは、市町村における住民健診とがん検診の同時実施が多く行われていましたが、平成 20 年度から医療保険者に特定健康診査実施が義務付けられ、健康診査とがん検診の実施主体が別になりました。このため、この期間のがん検診受診率が落ち込んだと考えられます。

平成 24 年 6 月に閣議決定された「がん対策推進基本計画」では、「がん検診の受診率については、5 年以内に 50% (胃、肺、大腸は当面 40%) を達成することを目標」とし、受診率の算定は、「40 歳から 69 歳 (子宮頸がんは 20 歳から 69 歳) までを対象とする」と変更されたため、この変更内容に従い、過去の本県の受診率を算出しました。

平成 21 年度から国の補助によるがん検診推進事業[※]が実施されている乳がん及び子宮頸がん検診の受診率は、平成 20 年度以降、年々増加してきており、平成 20 年度と比べ、平成 22 年度では、約 6 ポイントの上昇が認められています。

従来のがん検診の受診率対象年齢 (40 歳又は 20 歳以上上限なし) で受診率を算出した場合と比べ、変更後の対象年齢 (40 歳又は 20 歳以上 69 歳まで) で算出した受診率は、肺がん、大腸がんでは低くなっていますが、胃がん検診ではやや高く、乳がん、子宮がんについては高くなっています。また、全国平均との比較では概ね愛知県の受診率が上回っています。

なお、乳がん検診と子宮がん検診の受診間隔は、2 年に 1 度とされています。

ア 胃がん

年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	17.3%	15.2%	16.4%	14.7%
全 国	11.9%	10.5%	10.5%	10.2%

出典 厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」「地域保健・健康増進事業報告」(以下、同じ)

イ 肺がん

年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	29.6%	23.5%	25.6%	23.8%
全 国	18.7%	16.1%	16.2%	15.9%

ウ 大腸がん

年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	23.8%	19.5%	21.1%	20.0%
全 国	17.4%	15.0%	15.4%	15.8%

エ 乳がん

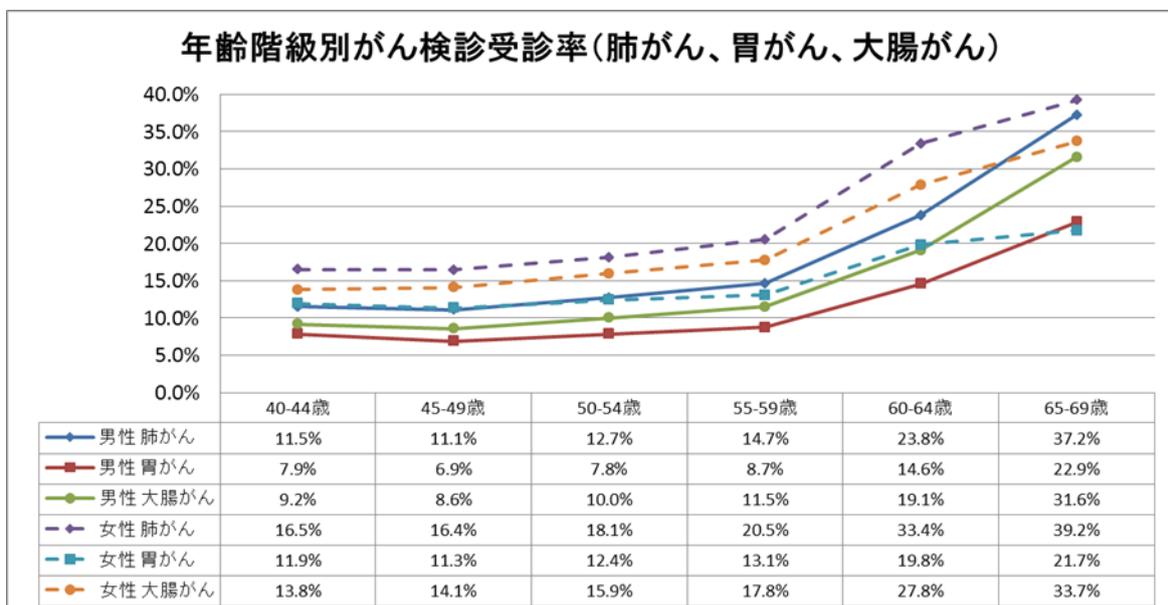
年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	—	19.1%	25.4%	31.0%
全 国	—	19.9%	23.4%	27.3%

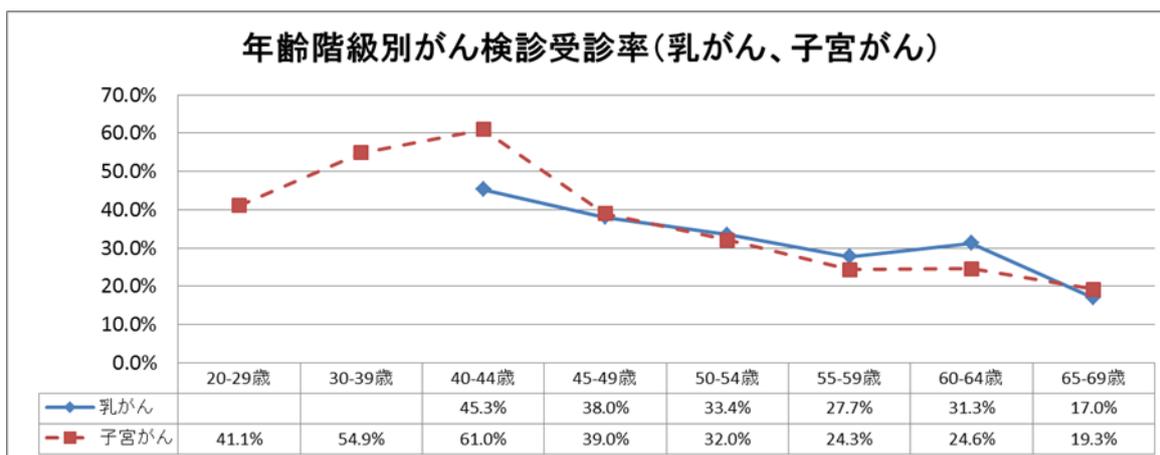
オ 子宮がん

年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	—	27.0%	32.8%	38.4%
全 国	—	24.0%	26.6%	30.9%

※ 「地域保健・老人保健事業報告」において、平成19年度は、乳がん・子宮がんについては2年連続受診者数の情報がないため算出できず。

(参考) 愛知県における年齢階級別がん検診受診率 (平成22年度)





出典 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

※ 子宮がんについては20歳及び30歳代の5歳ごとの年齢階級別対象者数の情報がないため、40歳未満の年齢階級は、20～29歳、30～39歳とした。

(2)がん検診推進事業におけるクーポン券の利用率

子宮頸がん検診におけるクーポン券利用率は、愛知県及び全国とも、若年層で低値となっており、この年齢層に対するクーポン券利用促進に関する働きかけが、今後の課題と考えられます。

ア 乳がん

年 度	年 齢	40 歳	45 歳	50 歳	55 歳	60 歳
平成 21 年度	愛知県	26.0%	22.8%	21.9%	22.1%	24.5%
	全 国	25.4%	23.6%	22.1%	23.2%	24.0%
平成 22 年度	愛知県	27.7%	23.5%	22.1%	21.7%	23.3%
	全 国	26.5%	23.8%	22.2%	22.6%	23.1%

出典 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課調べ、愛知県健康福祉部、以下同じ

イ 子宮頸がん

年 度	年 齢	20 歳	25 歳	30 歳	35 歳	40 歳
平成 21 年度	愛知県	11.9%	21.7%	27.8%	27.7%	27.8%
	全 国	8.9%	18.0%	23.4%	25.6%	26.1%
平成 22 年度	愛知県	15.0%	25.7%	30.9%	31.8%	30.0%
	全 国	11.9%	21.8%	26.9%	29.2%	28.4%

乳がん及び子宮頸がん検診におけるクーポン券利用率に関しては、単年度で、「地域保健・健康増進事業報告」によるがん検診受診率に関しては、隔年受診率を算出しているため、直接これらの値を比較できません。

しかしながら、平成22年度の受診算定年齢の上限を69歳とした場合の、乳がん及び子宮がん検診のそれぞれの受診率は、平成20年度と比べると、愛知県で11ポイントから12ポイント、全国では8ポイント程度的大幅な改善が認められ、クーポン券利用による効果と考えられます。

(参考) 受診率算定対象年齢 40歳以上 (子宮がんは20歳以上)

ア 胃がん

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	17.0%	16.9%	14.6%	16.0%	14.9%
全 国	12.1%	11.8%	10.2%	10.1%	9.6%

出典 厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」「地域保健・健康増進事業報告」(以下、同じ)

イ 肺がん

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	34.8%	34.1%	25.4%	28.2%	27.2%
全 国	22.4%	21.6%	17.8%	17.9%	17.2%

ウ 大腸がん

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	25.8%	26.0%	21.1%	23.4%	22.7%
全 国	18.6%	18.8%	16.1%	16.5%	16.8%

エ 乳がん

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	12.6%	13.8%	14.0%	18.5%	22.2%
全 国	12.9%	14.2%	14.7%	16.3%	18.8%

オ 子宮がん

年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
愛 知 県	22.3%	22.4%	21.7%	26.9%	30.5%
全 国	18.6%	18.8%	19.4%	21.0%	23.7%

(参考)「平成23年度がん検診受診率分析委託事業」

国が、[※]地域の受診率、[※]職域の受診率、[※]職域の被扶養者の受診率と、個人で行うがん検診を統合した全国のがん検診受診率の推計を行っています。

「第28回がん対策推進協議会」[※](平成23年11月21日)において、「平成23年度がん検診受診率分析委託事業」によるがん検診推計受診率を、大腸がんは23.0%、乳がんは20.5%、子宮頸がんは26.2%と報告しています。

11 がん診療連携拠点病院及びがん診療拠点病院の指定状況 [※]（平成24年4月1日現在、参考資料3参照）

（1）国指定のがん診療連携拠点病院

本県におけるがん診療の中核を担う都道府県がん診療連携拠点病院1病院（※1）、地域のがん診療の中心的役割を果たす地域がん診療連携拠点病院14病院、計15病院が指定を受けています。

医療圏	医療機関名	所在地
名古屋	愛知県がんセンター中央病院 ※1	名古屋市千種区
	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	名古屋市中区
	名古屋大学医学部附属病院	名古屋市昭和区
	社会保険 中京病院	名古屋市南区
	名古屋市立大学病院	名古屋市瑞穂区
	名古屋第一赤十字病院	名古屋市中村区
	名古屋第二赤十字病院	名古屋市昭和区
海部	愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院	弥富市
尾張東部	公立陶生病院	瀬戸市
	藤田保健衛生大学病院	豊明市
尾張西部	一宮市立市民病院	一宮市
尾張北部	小牧市民病院	小牧市
西三河北部	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	豊田市
西三河南部西	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	安城市
東三河南部	豊橋市民病院	豊橋市

指定期間は、平成22年4月1日から平成26年3月31日まで

（2）県指定のがん診療拠点病院

がん診療連携拠点病院と同等の機能を有すると考えられる医療機関を、がん診療拠点病院として指定しています。

医療圏	医療機関名	所在地
名古屋	名古屋掖済会病院 ※1	名古屋市中川区
	名古屋記念病院 ※1	名古屋市天白区
	独立行政法人労働者健康福祉機構 中部労災病院 ※2	名古屋市港区
尾張東部	愛知医科大学病院 ※1	長久手市
尾張北部	春日井市民病院 ※3	春日井市
知多半島	半田市立半田病院 ※1	半田市
西三河北部	トヨタ記念病院 ※3	豊田市
西三河南部西	刈谷豊田総合病院 ※1	刈谷市

指定期間は、※1の医療機関は、平成22年6月1日から平成26年3月31日まで

※2の医療機関は、平成23年4月1日から平成26年3月31日まで

※3の医療機関は、平成24年4月1日から平成26年3月31日まで